

家庭状況調査表

(記入日 年 月 日)

ふりがな		男 女	生年 月日	令和 西暦 年 月 日生		
児童名前						
住所 〒 ー 海田町				自宅電話番号		
				園児との続柄		
				携帯番号()		
				園児との続柄		
				携帯番号()		
家 族 構 成	名 前		園児との 続柄	生年月日		勤務先(部署), 学校・学年等
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
	ふりがな ----- (男・女)			昭和・平成・令和・西暦 年 月 日生		
生 育 歴	妊娠	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 妊娠高血圧症候群 <input type="checkbox"/> 骨盤位 <input type="checkbox"/> その他()				
	分娩	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 難産 <input type="checkbox"/> 鉗子分娩 <input type="checkbox"/> 帝王切開 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 在胎期間(月又は 週)				
	出生	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 仮死 <input type="checkbox"/> 臍帯巻絡 <input type="checkbox"/> 黄疸 <input type="checkbox"/> 保育器使用(日間) 体重(g) 身長(cm) 頭囲(cm)				
	発育 歴	首すわり(月) 笑いはじめ(月) 寝返り(月) 発 歯(月) 這いはじめ(月) お座り(月) 歩 行(月) 発 語(マンマ・ワンワンなど)(月)				
入園までの 保育状態・ 利用施設等		<input type="checkbox"/> 家庭内 <input type="checkbox"/> 託児所(施設名) (年 月～ 年 月) <input type="checkbox"/> 保育所(施設名) (年 月～ 年 月) <input type="checkbox"/> その他(種別・名称) (年 月～ 年 月)				

	接種名		1回目 年月日	2回目 年月日	3回目 年月日	追加 年月日	既往症	年 月		
	予 防 接 種	ロタウ イルス	1価		/	麻疹(はしか)	.
5価			/	風疹	.		
ヒブワクチン		水痘(水ぼうそう)	.			
肺炎球菌		流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	.			
BCG		/	..	百日咳	.			
B型肝炎		/	突発性発疹	.			
四種混合		川崎病	.			
麻疹風疹混合		/	脱臼	1回目	.		
水痘		/	部位()	2回目	.		
日本脳炎		熱性けいれん	1回目	.		
おたふくかぜ		/	(°C)	2回目	.		
		□アトピー性皮膚炎				
定 期 健 診		3~4か月児健診(平成・令和 年 月) 指導事項()						□気管支喘息		
	1歳6か月児健診(平成・令和 年 月) 指導事項()						□心臓病()			
	3歳児健診(平成・令和 年 月) 指導事項()						□先天性疾患()			
通 園 状 態	家から保育園までの距離(. km)						□その他()			
	通園方法(・徒歩・自転車・自家用車 ・その他)						□食物アレルギー(卵・乳製品) その他()			
	登園時間(時 分ごろ)						降園時間(時 分ごろ)			
	付添者氏名()						付添者氏名()			
	園児との続柄()						園児との続柄()			
備 考										

緊急連絡カード

(記入日 年 月 日)

ふりがな 園児名前		性別	男・女	生年月日	令和 西暦	年	月	日生
住所	〒 - 海田町			自宅 電話番号				
ふりがな 保護者名前	園児との続柄 ()			園児との続柄 ()				
携帯 電話番号	※			※				
勤務先 (部 署)								
所在地								
勤務先 電話番号	※			※				
※ 緊急時に連絡を行う場合の優先順位を記入してください。(1~4)								
保護者以外 の緊急 連絡先	名前(ふりがな)		園児との続柄 ()	電話番号				
	住所 〒							
健康保険 の状況	種 類	・健康保険 ・国民健康保険 ・共済組合 ・その他()						
	記 号			資格取得年月日	年 月 日			
	番 号			事業所名称				
	保険者名称			保険者番号				
公費負担 医療制度 の状況	種類	・乳児医療 ・ひとり親医療 ・生活保護 ・その他()						
	公費負担 番号			受給者番号				
かかりつけ 医療機関	診療科目	医療機関名		市区町名		連絡先電話番号		
既往 症等	・アレルギー 有 ・ 無			・喘息 有 ・ 無				
	・アトピー 有 ・ 無			・熱性けいれん 有 ・ 無				
	・薬疹 有 ・ 無			・脱臼 有 ・ 無 (部位)				
	その他、配慮が必要な事項 ()							
・体重 (kg) ・身長 (cm) ・平熱 (°C) ・血液型 (型)								

【0歳児の持ち物】

毎日持って来る物

コップ (1)
(プラスチック)

食事用エプロン (3)

汚れ物用
ビニール袋
(1枚)

拭き用タオル
(3)

連絡ノート
名前

紙おむつor紙パンツ
(5)
名前

※毎日5枚持って来て、
余った紙パンツは持ち帰ります。

※よだれかけ (スタイ) が必
要なお子さんは、必要に
応じて お持ちください。

※巾着袋の中に入れてください。

園に置いておく物

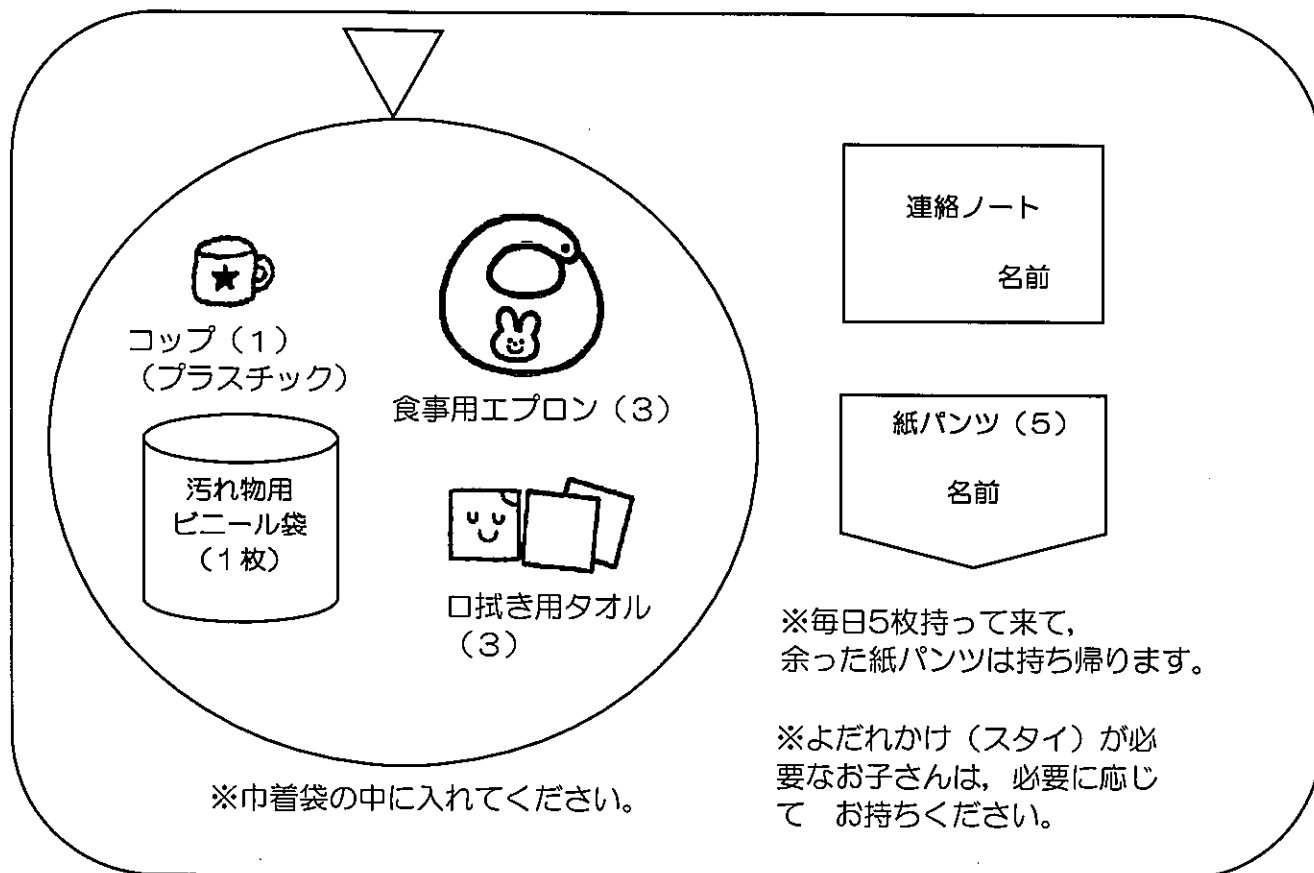
<input type="checkbox"/> 外遊び用帽子 (サイズやゴム紐の長さなどを、調整してください。)	・週始めに持ってきて、週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 屋上用の靴 (マジックテープの物が好ましい。)	
<input type="checkbox"/> 布団 (布団袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 着替え2組 (下着, スポン, 上衣など。)	・着替えをした際、持ち帰りますので、同じ枚数分を翌日に補充してください。
<input type="checkbox"/> 紙パンツ (3枚)	・予備用として置いておきます。
<input type="checkbox"/> ビニール袋 (着替えなどの汚れ物を入れます。)	・ビニール袋一式。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> おしり拭き (排便の際に使用します。)	・流せるタイプ, 流せないタイプ, どちらでもかまいません。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> 哺乳瓶 (※必要なお子さん)	・保管については相談してください。
<input type="checkbox"/> 箱ティッシュ (1), 雑巾 (1)	・年度始め, 入園時に持ってきてください。 (名前の記入はいりません。)

※すべての持ち物の見える所に名前の記入をしてください。

消えたら、書き直してください。

【1歳児の持ち物】

毎日持って来る物



園に置いておく物

<input type="checkbox"/> 赤白帽子 (サイズやゴム紐の長さなどを調整してください。)	
<input type="checkbox"/> 屋上用の靴 (マジックテープの物が好ましい。 ※靴袋に入れてください。)	・週始めに持って来て、週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 布団 (布団袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 着替え2組 (下着, スボン, 上衣など。) (巾着袋などの着替え袋に入れてください。)	・着替えをした際、持ち帰りますので、同じ枚数分を翌日に補充してください。
<input type="checkbox"/> 紙パンツ (3枚)	・予備用として置いておきます。
<input type="checkbox"/> ビニール袋 (着替えなどの汚れ物を入れます。)	・ビニール袋一式。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> おしり拭き (排便の際に使用します。)	・流せるタイプ, 流せないタイプ, どちらでもかまいません。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> 箱ティッシュ (1), 雑巾 (1)	・年度始め, 入園時に持って来てください。 (名前の記入はいりません。)

※すべての持ち物の見える所に名前の記入をしてください。

消えたら、書き直してください。

【2歳児の持ち物】

毎日持って来る物

○リュックなどのかばんの中に…

コップ (1)
(プラスチック)

食事用エプロン (1)

給食用大き目のハンカチ
(1)

汚れ物用
ビニール袋
(1枚)

口拭き用タオル
(3)

連絡ノート
名前

紙パンツ (5)
名前

トレーニングパンツ又は
パンツ (担任と相談して
決めてください。)

手拭きタオル

※巾着袋の中に入れてください。

園に置いておく物

<input type="checkbox"/> 赤白帽子 (サイズやゴム紐の長さなどを調整してください。)	<ul style="list-style-type: none"> • 週始めに持ってきて、週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 屋上用の靴 (靴袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 布団 (布団袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 絵本貸出用バッグ	<ul style="list-style-type: none"> • 絵本の貸し出しに使用します。 (毎週木曜日に借りて帰ります。)
<input type="checkbox"/> 着替え2組 (下着,ズボン,上衣など。) (巾着袋などの着替え袋に入れてください。)	<ul style="list-style-type: none"> • 着替えをした際、持ち帰りますので、同じ枚数分を翌日に補充してください。
<input type="checkbox"/> 紙パンツ (3枚)	<ul style="list-style-type: none"> • 予備用として置いておきます。
<input type="checkbox"/> ビニール袋 (着替えなどの汚れ物を入れます。)	<ul style="list-style-type: none"> • ビニール袋一式。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> おしり拭き (排便の際に使用します。)	<ul style="list-style-type: none"> • 流せるタイプ、流せないタイプ、どちらでもかまいません。補充の際はお知らせします。
<input type="checkbox"/> 箱ティッシュ (1), 雑巾 (1)	<ul style="list-style-type: none"> • 年度始め、入園時に持ってきてください。 (名前の記入はいりません。)

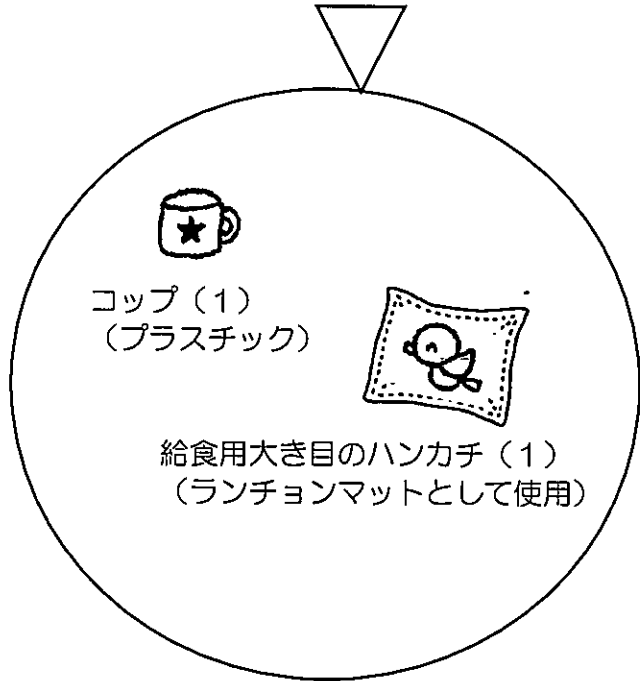
※すべての持ち物の見える所に名前の記入をしてください。

消えたら、書き直してください。

【3歳児の持ち物】

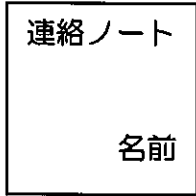
毎日持って来る物

○リュックなどのかばんの中に…



コップ (1)
(プラスチック)

給食用大き目のハンカチ (1)
(ランチョンマットとして使用)

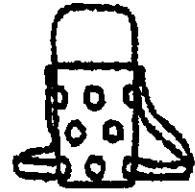


連絡ノート

名前



手拭きタオル



水筒 (かけられる
ひも付きのもの)

※巾着袋の中に入れてください。

園に置いておく物

<input type="checkbox"/> 赤白帽子 (サイズやゴム紐の長さなどを調整してください。)	・週始めに持ってきて、週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 室内用のシューズ (靴袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 布団 (布団袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 絵本貸出用バッグ	・絵本の貸し出しに使用します。 (毎週木曜日に借りて帰ります。)
<input type="checkbox"/> 着替え1組 (下着,ズボン,上衣など。) (巾着袋などの着替え袋に入れてください。)	・着替えをした際,持ち帰りますので,同じ枚数分を翌日に補充してください。
<input type="checkbox"/> 箱ティッシュ (1), 雑巾 (1)	・年度始め,入園時に持ってきてください。 (名前の記入はいりません。)

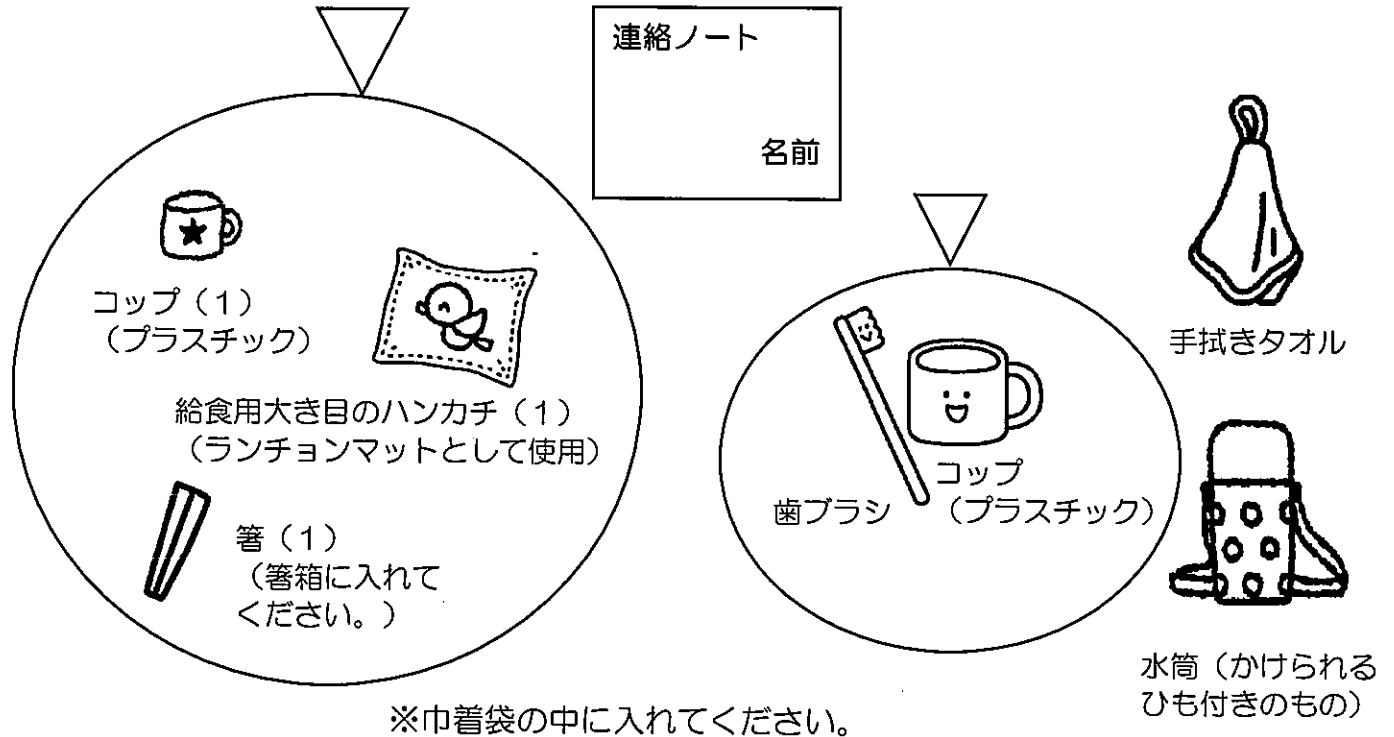
※すべての持ち物の見える所に名前の記入をしてください。

消えたら,書き直してください。

【4. 5歳児の持ち物】

毎日持って来る物

○リュックなどのかばんの中に…



園に置いておく物

<input type="checkbox"/> 赤白帽子 (サイズやゴム紐の長さなどを調整してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・週始めに持ってきて、週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 室内用のシューズ (靴袋に入れてください。)	
<input type="checkbox"/> 絵本貸出用バッグ	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の貸し出しに使用します。 (毎週木曜日に借りて帰ります。)
<input type="checkbox"/> 着替え1組 (下着, スボン, 上衣など。) (巾着袋などの着替え袋に入れてください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えをした際, 持ち帰りますので, 同じ枚数分を翌日に補充してください。
<input type="checkbox"/> お昼寝セット (バスタオルまたはタオルケット2枚) (手提げ袋などに入れてください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>夏季のみ。</u> 週始めに持ってきて, 週末に持ち帰ります。
<input type="checkbox"/> 箱ティッシュ (1), 雑巾 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始め, 入園時に持ってきてください。 (名前の記入はいりません。)

※すべての持ち物の見える所に名前の記入をしてください。

消えたら, 書き直してください。

* 学校感染症の種類 (学校保健安全法施行規則第18条)

第一種 感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ポリオ、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がSARS(サーズ)コロナウイルスであるものに限る)、鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであつてはその血清亜型がH5N1であるものに限る) * 上記の他、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症
第二種 感染症	インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)を除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜熱(プール熱)、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第三種 感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症 *この他に条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる疾患として、溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑(りんご病)、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症、アタマジラミ、水いぼ(伝染性軟疣腫)、伝染性膿痂疹(とびひ)

* 出席停止の期間

- 第一種の感染症・・・完全に治癒するまで
- 第二種の感染症・・・病状によりより学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。

インフルエンザ ※鳥インフルエンザ(H5N1)及び新型インフルエンザ等感染症を除く	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹	解熱後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。

- 第三種の感染症・・・病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。
- その他の場合

- ・ 第一種もしくは第二種の感染症患者を家族に持つ家庭、または感染の疑いが見られる者については学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。
- ・ 第一種又は第二種の感染症が発生した地域から通学する者については、その発生状況により必要と認めるとき、学校医の意見を聞いて適当と認める期間。
- ・ 第一種又は第二種の感染症の流行地を旅行した者については、その状況により必要と認めるとき、学校医の意見を聞いて適当と認める期間。

〈保護者用〉

(なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。)

登 園 届	
明光保育園長様	園児名前 _____
医療機関『 _____ 』において、 病名『 _____ 』と診断され、治療（療養）した結果、 年 月 日に治癒（症状回復）し、 保育園における集団生活に支障がないと診断されたので、登園させます。	_____ 年 月 日
	保護者名前 _____ (印) 園児との続柄 _____

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後1日間	抗菌薬の内服後、24～48時間経過していること。
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること。
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が 発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること。
伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身の状態が良いこと。
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・ アデノウイルス等)	症状のある間と症状消失後1週間 (量は減少していくが、数週間 ウイルスを排泄しているので 注意が必要)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普通の食事がとれること。
ヘルパンギーナ	急性期の数日間 (便の中に1か月程度ウイルスを排泄 しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること。
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと。
帯状疱疹	水泡を形成している間	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。
突発性発疹	(不明確)	解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと。

※保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが1日を快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけ医の診断に従い登園届を記入し、提出してください。

〈医師用〉

意見書

明光保育園長様

園児名前 _____

病名『 _____

』が治癒（症状回復）し、

保育園における集団生活には支障がなく、登園可能と認めます。

_____年 月 日

医療機関名 _____

医師名前 _____

⑩

○医師の意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発症出現後の 4日後まで	解熱後3日を経過していること。
インフルエンザ	症状がある期間 (発症前24時間から、発症後 3日程度までが最も感染力が強い)	発症後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること。 (乳幼児にあつては、3日を経過していること)
風疹	発症出現の7日前から7日間くらい	発疹が消失していること。
水痘 (水ぼうそう)	発症出現1～2日前から 痂皮(かさぶた)形成まで	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後 4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、 かつ、全身状態が良好になっていること。
結核		医師により感染の恐れがないと認められていること。
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した 数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること。
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した 数日間	結膜炎の症状が消失していること。
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、 咳出現後、3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること、又は、適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること。
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	不明確	医師により、感染のおそれがないと認められていること。 (無症状病原体保有者の場合、5歳未満の子どもについては、2 回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能。)
急性出血性結膜炎	不明確	医師により感染の恐れがないと認められていること。
髄膜炎菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎)	不明確	医師により感染の恐れがないと認められていること。
新型コロナウイルス感染症	発症2日前から、発症後7～10日間程度 (この期間のうち、発症直前・直後に 特にウイルス排出量が高く、感染力も 高い)	①感染が確認された日を含めて10日間経過していること。 ②発熱、咳、鼻づまりなどの「風邪症状」がなくなってから72 時間を経過していること。 ③新型コロナウイルスに関する投薬を受けていないこと。 ④ ①～③を満たし、医療機関において抗原定性検査又はPCR 検査で陰性が確認されていること。

※保育園からのお願い 別紙8 (「学校保健安全法施行規則」第18条参照)

※かかりつけの医師に記入してもらい、提出してください。

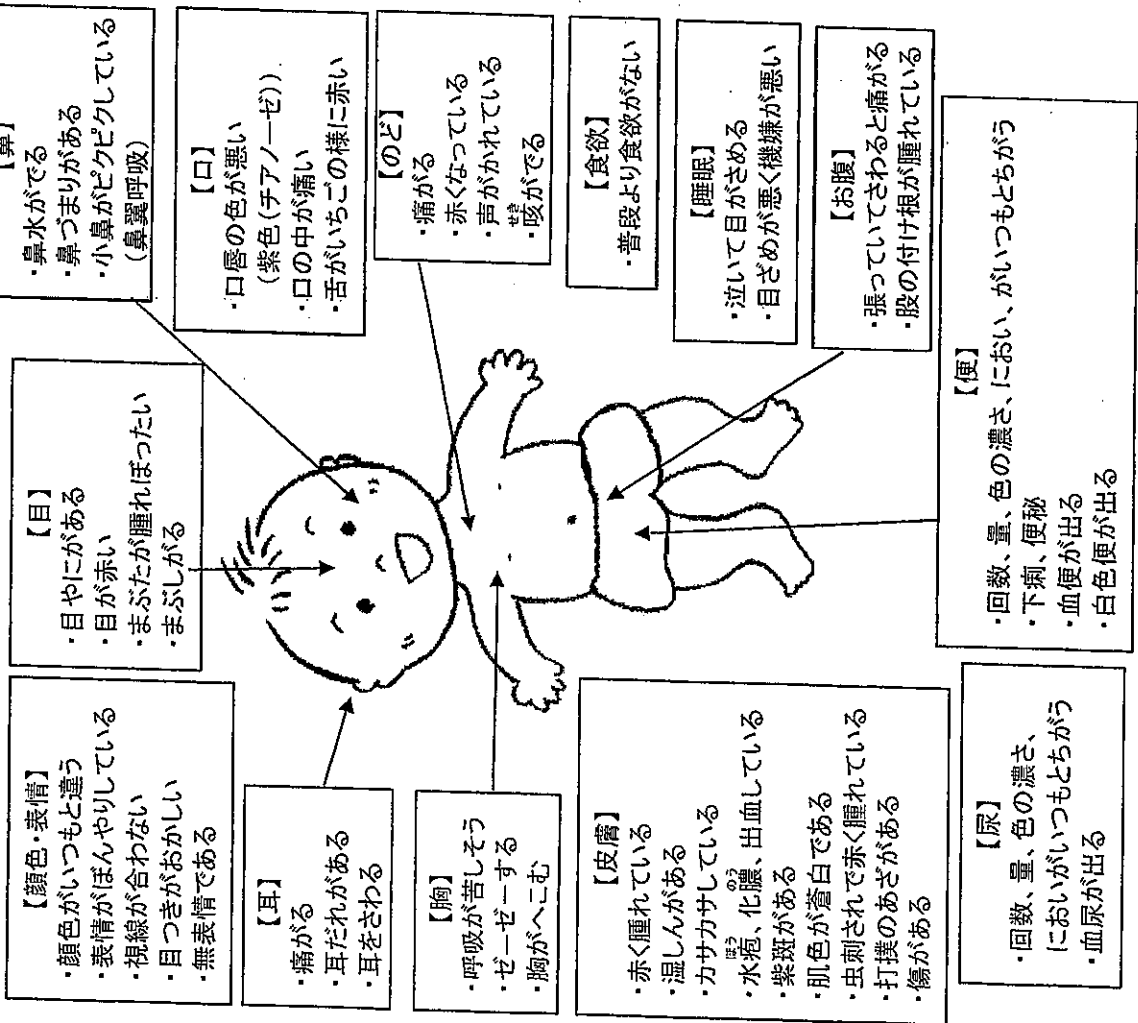
投薬依頼書

令和 年 月 日					
明光保育園長様					
次のとおり医師から投薬指示があったので、園においての投薬を依頼します。					
組	園児名前				
保護者名前					
※必要なものを○で囲んでください。					
医療機関名	_____				
傷病名	_____				
処方年月日	令和 年 月 日 ()				
薬の種類	粉末・錠剤・水薬・外用薬・点眼薬・その他()				
薬の名称	()				
薬の用途	()				
薬の数量	包・ 錠・ その他()				
投薬時間	時間【 : 】 食前・食後				
外用薬の使用部位	_____				
特記事項	_____				
受領者【 】 投薬者【 】 投薬時間【 : 】					
投薬確認	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> _____ 月 日 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> 投薬者【 】 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> _____ 様 </td> <td style="border: none;"> 投薬時間【 : 】 </td> </tr> </table>	_____ 月 日	投薬者【 】	_____ 様	投薬時間【 : 】
_____ 月 日	投薬者【 】				
_____ 様	投薬時間【 : 】				

※薬は、1回分を投薬袋に入れて担任又は受付職員に直接手渡してください。新たに投薬を依頼するときは、薬局が発行する薬の説明書又は医師の処方箋の写しを添付してください。

子どもの病気 ～症状に合わせた対応～

①子どもの症状を見るポイント



○ 子ども一人一人の元気な時の『平熱』を知っておくことが症状の変化に気づくめやすくなります。

○ いつもと違うこんな時は、子どもからのサインです！

- ・朝から離れず機嫌が悪い(ぐずる)
- ・睡眠中に泣いて目が覚める
- ・元気がなく顔色が悪い
- ・きつかけがないのに吐いた
- ・便がゆるい
- ・普段より食欲がない

○ 今までなかった発しんに気がついたら・・・

- ・他の子どもたちは別室へ移しましょう。
- ・発しん以外の症状はないか、発しんが時間とともに増えていないか、などの観察をしましょう。
- ・クラスや兄弟姉妹、一緒に遊んだ子どもの中に、感染症が疑われる症状がみられる子どもがいらないか、確認しましょう。

② 発熱時の対応

子ども一人一人の元気な時の「平熱」を知っておくことが重要です。発熱時の体温は、あくまでもめやすであり、個々の平熱に応じて、個別に判断します。

<保育中の対応について>

保護者への連絡が望ましい場合	至急受診が必要と考えられる場合
<ul style="list-style-type: none"> ○ 38℃以上の発熱があり、元気がなく機嫌が悪いとき ・ 咳<small>せき</small>で眠れず目覚めるとき ・ 排尿回数がいつもより減っているとき ・ 食欲なく水分が摂れないとき <p>※熱性けいれんの既往児が37.5℃以上の発熱があるときは医師の指示に従う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 38℃以上の発熱の有無に関わらず、顔色が悪く苦しそうなとき ・ 小鼻がピクピクして呼吸が速いとき ・ 意識がはつきりしないとき ・ 頻回<small>ひんかい</small>な嘔吐や下痢があるとき ・ 不機嫌でぐったりしているとき ・ けいれんが起きたとき <ul style="list-style-type: none"> ○ 3か月未満児で38℃以上の発熱があるとき

<登園前に保護者から相談を受けた場合の対応について>

以下の表に該当する場合には、登園を控えるよう保護者に伝えるなどの対応が必要。

登園を控えるのが望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間以内に38℃以上の熱が出た場合や、又は解熱剤を使用している場合。 ○ 朝から37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合。 ※ 例えば、朝から37.8℃の熱があることに加えて、機嫌が悪く、食欲がないなど全身状態が不良な場合、登園を控えるのが望ましいと考えられる。 一方、37.8℃の熱があるが、朝から食欲があり機嫌も良いなど全身状態が良好な場合、一律に登園を控える必要はないと考えられる。 (例示した発熱時の体温はめやすであり、個々の子どもの平熱に応じて、個別に判断が必要)

※0～1歳の乳幼児の発熱に関する特徴について

- ・ 体温調節機能が未熟なために、外気温、室温、湿度、厚着、水分不足等による影響を受けやすく、体温が簡単に上昇する。
- ・ 咳や鼻水などのかぜにみられる症状がなければ、水分補給を十分に行ない、涼しい環境に居ることで、熱が下がることがある。
- ・ 0歳児が入園後はじめて発熱した場合には、突発性発しんの可能性もある。熱性けいれんをおこす可能性もある。
- ・ 発熱がある、機嫌が悪いなどの様子とともに、耳をよくさわられる様子がみられる時は、中耳炎の可能性もある。

<発熱が見られる場合の対応・ケアについて>

- 発しんや咳を伴う時、また、複数の子どもにも発熱のほか類似の症状がみられる場合には、別室で保育する。
- 経口補水液、湯ざまし、お茶等により水分を補給する。
- 熱が上がり暑がるときは薄着にし、涼しくしたり、氷枕などをあてたりする。手足が冷たい時、寒気がある時は保温する。
- 高熱が出ている場合には、首のつけ根・わきの下・足の付け根を冷やす(ただし、子どもが嫌がる場合には行わないこと)。
- 微熱が出ている場合には、水分補給を行い安静にさせた後、30分程度様子をみてから再度検温する。

※保護者が迎えに来るまでの間には、以下の対応を行う。

- ・ 1時間ごとに検温する。
- ・ 水分補給を促す。吐き気がない場合には、本人が飲みたいだけ与えてよい。
- ・ 汗をかいいていたらよく拭き、着替えさせる。

※子どもにも熱性けいれんの既往歴がある場合には、以下の対応を行う。
・ 発熱とともにけいれんが起きた場合は連絡先、主治医からの対応方法等に関する指導内容を確認する。

- ・ 入園時には、保護者から、過去にけいれんが起きた時の状況やけいれんの前ぶれの症状の有無について確認する。
- ・ 発熱があつた場合には、解熱したとしても、発熱後24時間は自宅で様子をみる。
- ・ けいれんが起きたときには、あわてず、楽な姿勢にさせる。口の中にスプーンやタオルを入れない。また、吐いた物をのどに詰まらせないようにする。
- ・ けいれんが止まる気配がない場合には、すぐに救急車を呼ぶ。

※適切な室内環境のめやす

- ・ 室温：(夏) 26～28℃ (冬) 20～23℃
- ・ 湿度：高め
- ・ 換気：1時間に1回
- ・ 外気温との差：2～5℃